

1. 社会科は好きですか？好きでしたか？

◇嫌いになった理由

- ・覚える量が多い
- ・そもそも覚える必要性を見出せない
- ・漢字が難しい

・・・などなど

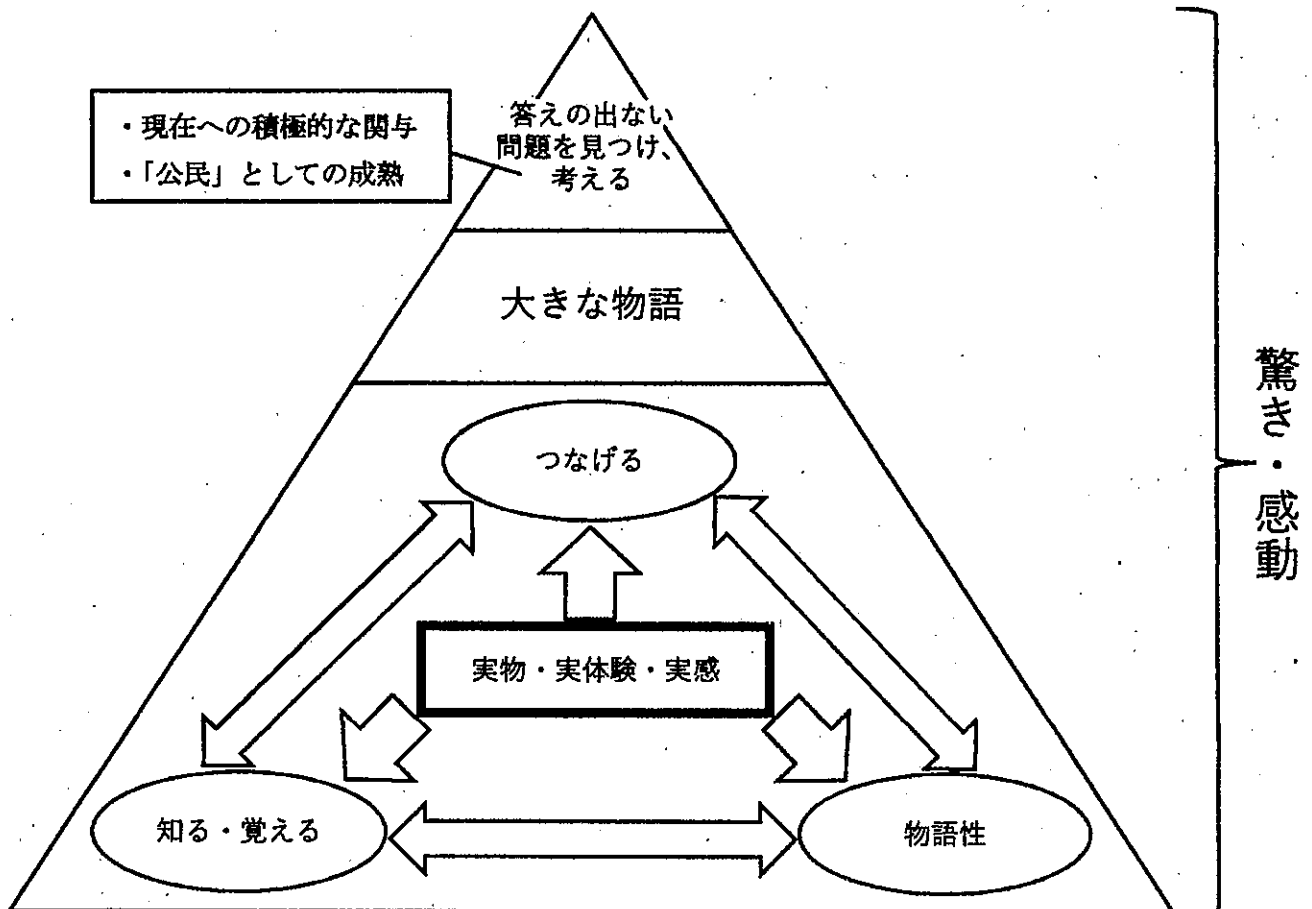
◇面白いと思った理由

- ・覚えるのが気持ちいい
- ・物語としての魅力

- ・要約し、一般化する力
- ・俯瞰する力
=歴史観、世界観、人生観

・・・など

2. 社会科の見取り図



3. 知る・覚える・驚く

◇覚えちゃった体験

◇覚え方を覚える

☆「覚えるって気持ちいい！」と感じさせること

→「すごいね！」で十分

「べき論」はいったん置いておきましょう

◇驚きぐせをつける

・アンテナショップめぐり

「いとこの体重と同じくらい！」

・阿蘇山のカルデラ

「そんなにでかいの!？」

4. つなげる・発見する

◇つながっちゃった体験

・三陸沖にある潮目

「そういうことか！」

◇「本当に〇〇だ！」を発見する

◇「なぜだろう？」を発見する

・宍道湖の道

☆「物語」を聞いてやること

→「なるほどね！」と納得してみせる

5. 実物に触れる・アクセスできる環境をととのえる

◇実物に勝る師匠無し

・土器と石器

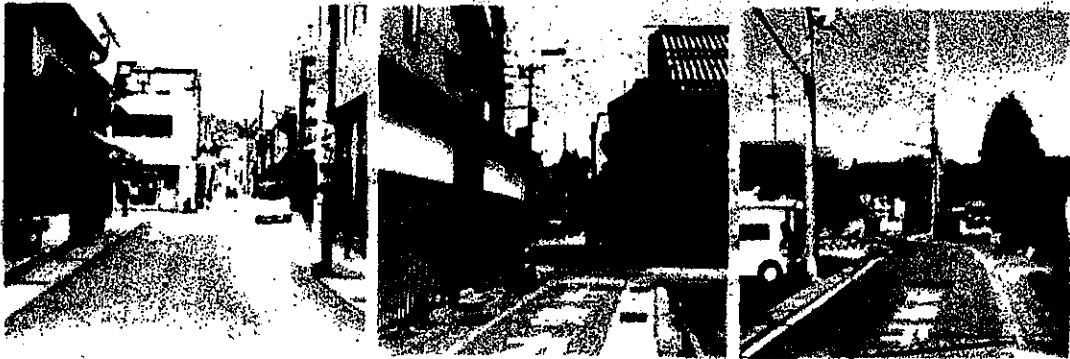
・江戸城の石垣

◇百聞は一見に如かずといえども百聞無き一見は百聞に如かず

☆親が専門的知識を持つ必要は無い

・城下町の風景

城下町の工夫



出石城 (Ito City, Iwate Prefecture)

大内氏館 (Yamaguchi Prefecture)

箕輪城 (Maibara City, Shizuoka Prefecture)

・横浜の「あの木」

1854 ペリー再来航



6. 一般化・普遍化

◇具体的・個別的事象から一般的・普遍的事象へと、「大きな物語」をつむぐ

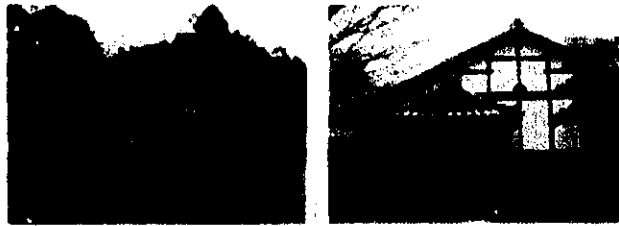
・「井伊直弼は悪いやつ」 一人間の多面性—

世田谷の歴史 ～代官所があった時代～

井伊直弼の生い立ちは？ →井伊直中の子14男

自分を何に似えていた？

1. 踏まれて強くなる麦
2. 寒さに耐える花のつぼみ
3. 蝶になる前のさなぎ
4. 花を咲かせることのない木



彦根市に残る

世田谷の歴史 ～代官所があった時代～

井伊直弼の趣味は？ →茶道・剣術・書画・糖術・禪・能楽・絵・和歌 などなど

特に茶道は超プロ級。

茶道に関する著書もある。

そして、その著書の中に出てくる言葉が…

井伊直弼著

・ voor lichter —もう一つの「夜明け」—

voor lichter は、オランダ南西部の都市ドルドレヒトで1866年（慶応2年）に竣工した。

日本名は「開陽」。

7. 答えの出ない問い

◇「正義」VS「正義」

・パレスチナ問題

パレスチナ紛争

第一次世界大戦 [1914年]

連合国

VS

同盟国

イギリス

フランス

ロシア

アメリカ

日本

ドイツ

オーストリア

イタリア

オスマン帝国 (トルコ)

【アラブ人・ユダヤ人】

パレスチナ紛争

第一次世界大戦後の、イギリスの外交政策

①フサイン＝マクマホン協定

対アラブ人「イギリスに協力すれば、
中東にアラブ人の独立国家を建設する」

②バルフォア宣言

対ユダヤ人「イギリスに協力すれば、
パレスチナにユダヤ人の国を建設する」

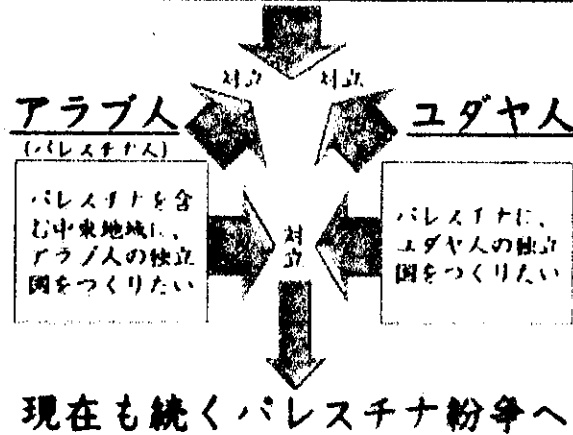
③サイクス＝ピコ協定

対フランス「戦争後は、中東全体を両国で分割すべし」

現在の中東の国境線はサイクス＝ピコ協定によって引かれた。

パレスチナ紛争

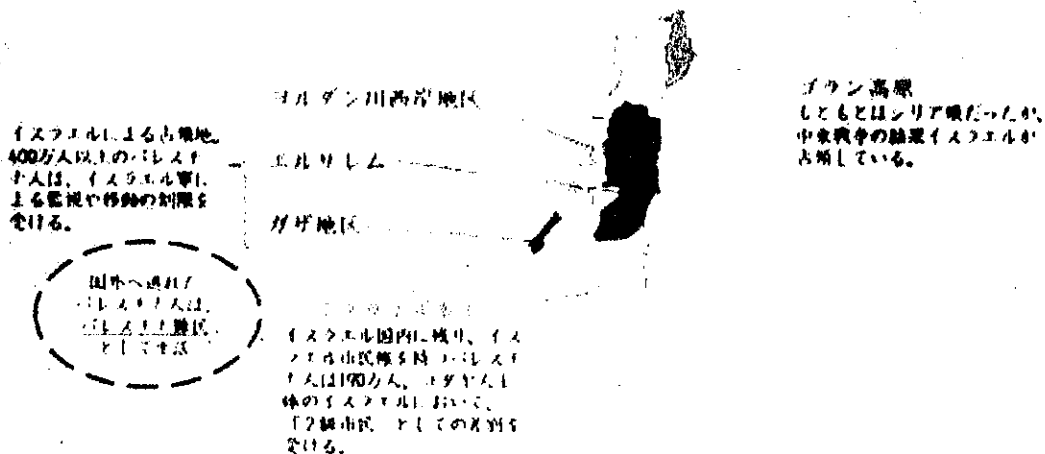
イギリス・フランスによる委任統治



1948年にユダヤ人国家であるイスラエルが建国され、第一次中東戦争が始まる。以降、1973年の第四次中東戦争まで戦いが続き、現在も紛争が絶えない。

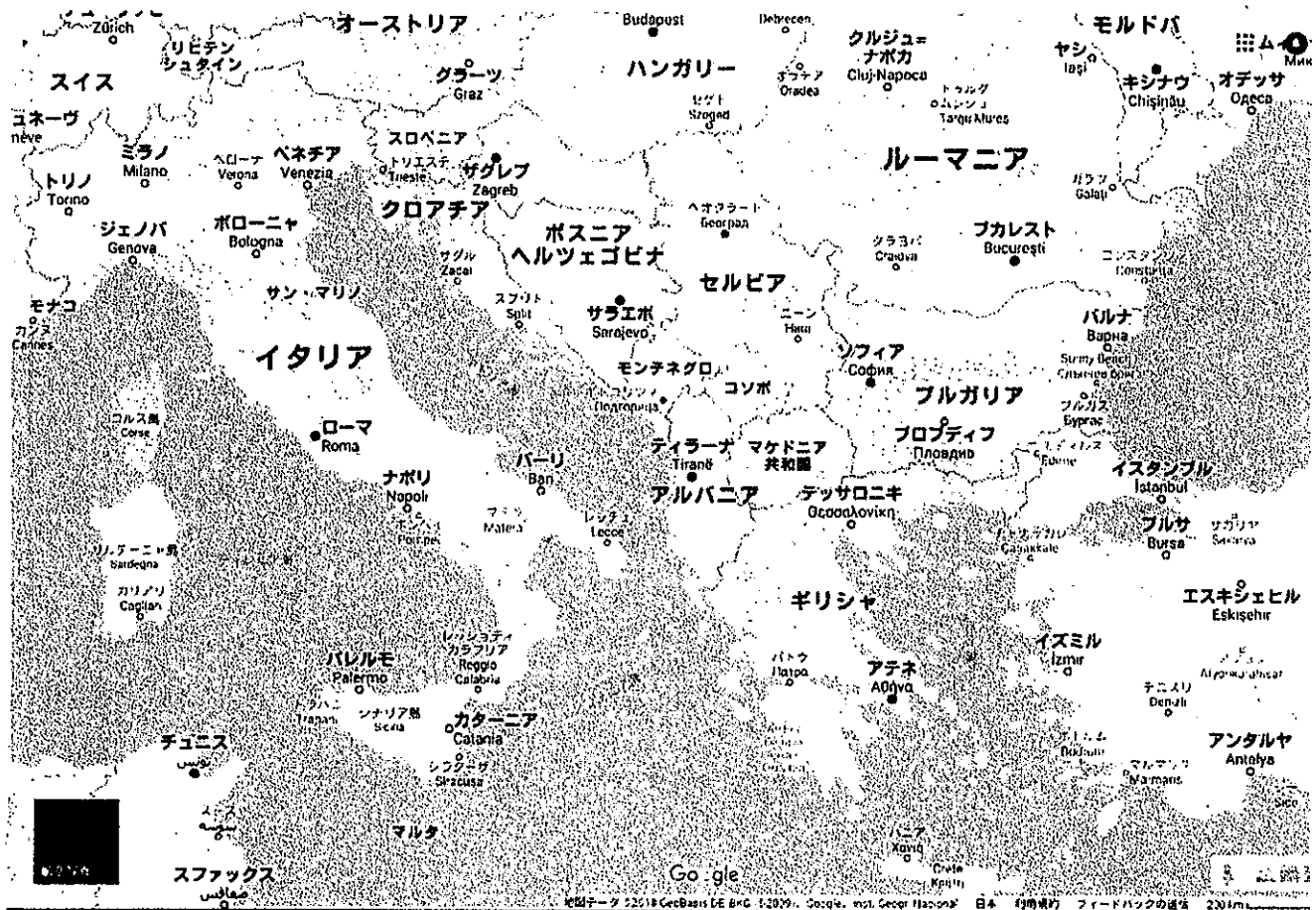
パレスチナ紛争

イスラエル建国、中東戦争後のパレスチナ



・旧ユーゴスラヴィア

「七つの国境、六つの共和国、五つの民族、四つの言語、三つの宗教、二つの文字、一つの国家」
1991年から1999年までの間に、スロヴェニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、コソヴォ、マケドニア、モンテネグロ、セルビアへと分裂した。



旧ユーゴスラヴィアの中心はセルビアで、他の共和国の独立の動きを武力で阻止しようとした。

→構図としては、セルビア VS 他の共和国

アメリカ、EU、NATOは反セルビアの立場をとり、セルビアの首都ベオグラードはNATO軍による空爆を受けた。

ボスニア・ヘルツェゴヴィナは、ボシュニャク人とクロアチア人が主に暮らすボスニア・ヘルツェゴヴィナ連邦と、セルビア人が主に暮らすスルブスカ共和国でできている。

コソヴォは独立を宣言しているが、セルビアは認めていない。国内には、アルバニア人とセルビア人が暮らしている。

◇報道との関わり方

・2012年8月10日 釜山

・イスラモフォビア

☆自分の目で見ると。自分の言葉で語る。

8. なぜ社会科を学ぶのか

